

高速道路建設を目指して

～北海道横断自動車道黒松内・小樽間建設促進シンポジウム～

7月25日（木）、文化福祉センターの大ホールにて、『北海道横断自動車道黒松内・小樽間建設促進シンポジウム』が開催されました。北海道横断自動車道余市～小樽間は、平成30年度末の完成を目指して事業が進められています。倶知安～余市間では環境調査を実施中ですが、未だ事業実施の決定には至っていません。倶知安～余市間の早期整備の必要性を広くアピールし、高速ネットワーク整備の重要性について理解を深めるために、シンポジウムを開催しました。



シンポジウムでは、北海道大学大学院工学研究院工学博士の田村亨教授が、「これからの社会資本整備の潮流と後志が進むべき道」をテーマに講演を行いました。講演の中で教授は、「これから100年、200年先に地域に必要なものを考えてもらいたい」と、後志が目指す姿をしっかりと作り上げることの大事さを訴えました。

講演後、田村教授を座長とし、ようてい農協代表理事専務の大野氏、倶知安観光協会会長の本田氏、倶知安厚生病院副院長の高木氏、倶知安商工会議所会頭の川上氏とパネルディスカッションを行いました。それぞれの立場から、「安定した物流に必要」、「道内各エリアとの広域連携のために」、「緊急時の救急搬送や医師確保の面からも利点は大きい」などと、高速ネットワーク整備による優位性などを訴えました。

シンポジウムには約500人が参加。集まった人の性別や年代は多様で、高速道路建設への熱意の強さを感じました。この熱意を一層強め、高速道路の早期実現に向けて町を挙げて取り組んでいこうと思います。



町総務部総務課（防災担当）からのお知らせ！

◆ 原子力防災計画を修正しました。

- ◇ 原子力災害対策指針の修正に伴い、平成25年7月26日に倶知安町防災会議において、次の計画を修正しました。
 - ・ 倶知安町地域防災計画（原子力防災計画編）及び倶知安町原子力災害退避等措置計画
 - ・ 同計画の内容については、町ホームページの「防災情報」から閲覧・ダウンロードできます。また、閲覧を希望される方は役場2階の総務部総務課（防災担当）までお越しください。

◆ 平成25年度北海道原子力防災訓練の実施について

- ◇ 訓練日程 平成25年10月8日（火）8時30分～16時
（概要は、町広報紙9月号の折り込みリーフレットを参照してください。）
- ◇ 訓練内容 倶知安町内における訓練の詳細については、別途お知らせします。

お問い合わせ先 町総務部総務課（防災担当） ☎ 0136-56-8000

NEWSあらかると

「町内ニュースをお知らせします」

ツール・ド・北海道2013

国内最大の自転車ロードレース

9月14日～16日の3日間の日程で行われるツール・ド・北海道。今年は、倶知安町を中心に行われます。過去に倶知安町を通過したことや、発着地になったことはありますが、大会3日間のほとんどの発着を一つの市町村で行うのは大会史上初の試みです（3日目のフィニッシュ地点が小樽市なのを除き、1日目、2日目の発着地と3日目の発着地は、すべてヒラフスキー場前です）。

ツール・ド・北海道は今年で27回目を迎えます。今年も本レースと市民レースの2

地図A 発着地（ヒラフスキー場）周辺の地図



※ S はスタート、F はフィニッシュ、M はメイン会場です。

地図B 市街地（レルヒ公園周辺）の地図



※実線はレース1日目、点線はレース3日目の進行方向です。

種類があり、本レースは3日間すべてがロードレース。総走行距離428km。国内外から合計20チーム、計100名の選手が熱いレースを繰り広げます。市民レースは本レースより短く、日程も2日間。発着地も本レースとは違いますが、2日ともフィニッシュ地点はヒラフスキー場前です。

発着場であるヒラフスキー場に用意されたメイン会場（ひらふ第1駐車場）では様々なイベントが予定されており、物産品コーナーなども設けられます。ゴンドラ坂周辺はスタート・フィニッシュ地点ということもあり、レースも見応えがあります。車でお越しの方は、少し離れますがサンスポ

ツラドくちゃん（サンスポ）の駐車場をご利用ください。（地図A参照）

3日間あるレースで、倶知安町の市街地を通過するのは1日目と3日目です。レルヒ公園周辺を通過します（地図B参照）。こちらでも猛スピードで疾走する選手たちを御覧になれます。是非沿道にて選手たちを応援してください。

大会の詳細は、ツール・ド・北海道2013公式ホームページ（<http://www.tour-de-hokkaido.or.jp/2013/index.html>）を御覧ください。レースの概要や、コースの詳細が記載されています。コース全体図もありますので、ここで紹介した以外の観戦ポイントが見つかるかもしれません。

夏も終わりに近づく時期に実施される、日本で一番熱い自転車レース。今年の夏最後の思い出づくりに、是非レースを観戦してみてください。

●交通規制のお知らせ●

大会中は、レースコースの交通規制が行われます。選手が通過する時のみの規制です。通過後は解除されます。交通規制の範囲や時間帯についても、大会ホームページに記載されていますので、ご参照ください。ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

★プラ製容器（資源ごみ2）の分別



プラ製容器包装



ペットボトルのキャップもプラごみです。



汚れているものは、軽く洗ひ水分を取る。

プラ製容器のみ、透明、半透明の袋に入れる
（他の資源ごみと袋は分別してください。）



- マヨネーズ・ケチャップ・ヨーグルト、油等の容器
- お菓子の袋
- たまごのパック
- 肉や魚の入っていたトレー
- 洋服の入っている透明な袋

夏のソフトボール教室

豊田自動織機女子ソフトボールチーム & 太陽誘電女子ソフトボールチームクリニック



▲豊田自動織機クリニックの様子。
バッティングフォームの指導を受けました。
とても分かりやすく指導してくれました。



▲太陽誘電クリニックの様子。
マンツーマンでの投球練習。トップレベルの
技を教えてもらいました。

ソフトボール日本リーグ1部所属の強豪2チームが夏合宿のため、俱知安町にやってきました。豊田自動織機女子ソフトボールチームは7月15日～22日まで、太陽誘電女子ソフトボールチームは8月2日～8日までの日程で、町営ソフトボール球場「きたろくグラウンド」で練習を行いました。

合宿の間に、町内の小中学生向けにクリニック（ソフトボール教室）を開催してくれました。トップレベルの技を学ぼうと、大勢の児童・生徒たちがクリニックに参加しました。

7月15日に行われた豊田自動織機クリニックには、21人の子どもたちが参加しました。豊田自動織機の選手と一緒にランニングやダッシュなどのウォームアップで体を温め、その後はポジションごとの練習やバッティング練習をしました。バッティングフォームを丁寧に教えてもらったりと、充実したクリニックでした。

8月6日には太陽誘電クリニックが行われました。19人の子どもたちが参加し、太陽誘電の選手たちと汗を流しました。投球・捕球・打撃などの正しいフォームを個別に指導してもらいました。普段の練習で気を付けるポイントなども教わり、次に繋がるものを沢山得られたクリニックでした。

両チームともに全日本代表選手を有している強豪チームです。そんな一流選手に直接指導してもらえたことは、子どもたちにとってこの上ない励みになったことでしょう。



▲太陽誘電チームの練習風景

まちづくり懇談会を開催します

俱知安町の「まちづくり」や「地域の課題」について町民の皆さんと町長が直に話し合う「まちづくり懇談会」を下記の日程で開催します。

日頃感じていることを、町長と話してみませんか？

■お問い合わせ／ ☎ 56-8001

町企画振興課広報広聴係（久佐賀・田爪）まで

開催日		会場
9月	26日（木）	俱知安中学校 （北地域会館耐震補強工事のため）
	27日（金）	中小企業センター
	30日（月）	東地域会館
10月	2日（水）	西小学校 （南地域会館耐震補強工事のため）
	3日（木）	琴和福祉会館
	21日（月）	八幡地域センター
	22日（火）	東部地域会館
	24日（木）	克雪管理センター
	29日（火）	サンスポーツランド
	30日（水）	高砂地域センター

※上記開催時間はすべて18時30分～20時を予定

新しいALTの先生が着任

キルシカ先生、俱知安町へようこそ！

平成23年7月25日から俱知安町内の小中学校でALTとして活躍してくれたマイヤーズ ショーン ティモシー先生が、今年の7月24日をもって退任しました。2年間という長いようで短い期間でしたが、小中学校での英語教育をはじめ、様々な場面で町のためにご尽力いただき、本当にありがとうございました。

ショーン先生の後任のALTとして、アメリカのカリフォルニア州からポールバナン キルシカ ラクシミ先生が、8月5日に着任されました。キルシカ先生は大学で日本語を学んでおり、日本語がとても上手です。きっと子どもたちにとって頼れるALTの先生になってくれることでしょう。キルシカ先生、俱知安町へようこそ！どうぞよろしくお願い申し上げます。



▲福島町長とがっちり握手をするショーン先生



▲新しいALTとして着任されたキルシカ先生